

博物館ニュース

2004年第5号（7月14日）

博物館の資料3件192点が7月9日

山形県指定有形文化財に指定！

注口土器 最上郡大蔵村白須賀遺跡出土
縄文時代中期



把手の部分が注ぎ口と一体化した特異な作りになっています。用途については様々な説があり、酒を造る道具だとするものや呪術や信仰の場で使われたとするものなどがあります。

上柳渡戸石製模造出土品
古墳時代



ある形（鏡・剣・玉など）を模して石材で造られたものを石製模造品と言います。模造品は古墳以外に祭祀場とみられる遺跡から出土する例が多いです。祭具に用いられたと考えられています。

弥生土器
上竹野遺跡出土



いずれも細長い縄文地に太い沈線で区画をつくり、区画内を磨消してある。本県内弥生文化の最も早いものとして、弥生文化の研究資料として貴重なものである。